

日銀旭川事務所の役割

皆さんは日本銀行が旭川に事務所を構えて六十年以上経っていることを存知でしょうか。厳密には終戦一年後の一九四六年(昭和二十一年)八月一日に開設してありますので六十三年近くになります。銀行とはいえ、一般のお客様から預金を預かったり、貸出をするところではあります。

したがって、馴染みが薄いかも知れません。それでは、それは長く当地と共にある日銀事務所の役割とは何なのでしょう。第一にあげられるのは日銀券すなわちお札の田漕な流通です。旭川事務所では道北地域(上川、宗谷、網走支庁管内)を所管にして

お持ちしますので、この地域において、皆さんが安心してお金を使うことができるように努めています。具体的には、密貯券制度という仕組みの下、北洋銀行旭川中央支店さんの協力を得て、地元金融機関との間で現金の受け渡しを日々行っています。こうして日銀から出て行ったお札は金融機関を通じて皆様の手元にわたり、役割を終えたお札

はまた日銀に戻ってきます。安心してお金を使えるということは、偽造券や変造券が出回らないこととはもとの、通貨の価値が安定していることも含まれています。

このほか、地域の金融や経済に関する調査や、こうした調査を踏まえた情報発信も大事な役割です。地元の情報も本部に伝達するべく、本部の情報を地元で還元することも重要な任務と思っております。最近で

は、日銀の広報(コミュニケーション)のみならず広く金融知識の普及や金融教育に関する情報発信にも力を入れています。この四月には日銀旭川事務所のホームページを全面的にリニューアルしました。いろいろな情報が詰まっていますので、是非、アクセスしてみてください(<http://www.3.boj.or.jp/asahikawa/>)。

日本銀行旭川事務所長 ※毎月第二週に掲載します

目銀所長のあさひかわ楽



筆者が抱えているのは1億円の模擬バック。約10kgの重さがある。日銀旭川事務所

本誌においそひるゆき(きんぎょ) 一九五八年(昭和三十三年)東京生まれ。七四、七五年(同四十九、五十一年)に米國ユタ州へAFS奨学金で留学。早大政経学部政治学科を卒業し、八一年(同五十二年)日本銀行に入行。米國ワシントンでの勤務や、橋本内閣の行政改革会議事務局への出向、総務人事企画などを経て、〇七年(平成十九年)から旭川事務所長。趣味は音楽鑑賞、ミュージカル鑑賞、社交ダンス。